つなごちゃんだより

2023 年度
2 月号

〒177-0045 練馬区石神井台 3 丁目 31 番 4 号　小規模保育園手をつなご石神井台
TEL　03(6767)1204

２月を迎えました。梅の花の開花予想も聞こえてきて、春が待ち遠しい季節です。

このところニュースで「不適切な保育」が取り上げられています。お子さんが本当に大切に扱われているのか　保護者の方のご不安はいかばかりかと思います。私たちの保育園では「子どもの人権」について学びを深めています。そしてそこに依拠しながら、お子さんの気持ちに共感すること（ポジティブな気持ちもネガティブな気持ちもどんな気持ちを持つことも自由です。気持ちに共感しますが、子どもの思い通りにしてあげるということとは違います）や子どもが発信してくることを見逃さずに暖かく返事をし、していることを認めたり、したい気持ちを受け止めたりすること（応答的な関わり）を大切にしています。

ですが、とっさの時に対応がうまくいかなかったのではないかと思うことも日々あります。そんな時は毎日の昼打ち合わせ時に保育の視点や保育士の言動について意見を交換し、次の保育につながるようにと反省を積み重ねています。保護者の皆様も私たちの日々の言動で気になることがありましたら、どうかおっしゃってください。子どもたちと保護者の皆様と私たち職員みんなで保育園を作り続けて行きたいと思っています。

欧米では、かなり以前から保育の質について研究がなされてきました。保育の条件（保育士 1 人の受け持ち人数・子どもの集団の人数・保育者の経験/学歴/専門の訓練や研修）は保育の質を左右することが挙げられています。また保育者の労働条件（保育士が保育運営に参加し、満足度が高く、適切な報酬を得ている）がよい場合に保育者は、子どもたちに対して共感的で、子どもたちの活動により積極的に関わっているという研究報告があります。日本中どこの保育園に入っても質の高い保育が受けられるように、保育を取り巻く様々な状況もみていかなくてはならないと思います。子どもたちが大切に育てられることを願ってやみません。

園長　浦山恵美子

今月のねらい

★1 歳児りす組★

＊身の回りのことを自分でやってみようとする気持ちに寄り添いながら、自らやろうとする力を大切にしていく。

＊保育者や友だちとやり取りしながら遊ぶことを楽しむ。

★2 歳児うさぎ組★

＊友だちと自分の思いの違いに気づいているので、相手の思いを一緒に考えたり、必要に応じて保育者が思いのやり取りを仲立ちしていく。

＊自分の体を調整しながら体を使った遊びを楽しむ。

今月の予定

4日（土）	うさぎ組保護者会
15 日（水）	身体計測
16 日（木）	避難訓練（火災）
17 日（金）	運営委員会

11 日（土）23 日（木）は祝日のため保育園はお休みです

お知らせ

今年は「覚悟した方がいい」ほど花粉が飛ぶとのことです。東京都が作成している「花粉症一口メモ」をダウンロードすることができます。
URL(QR コード)を載せますので、ご活用ください。

こちらの QR コードから保育園のホームページ・おたよりをご覧になれます。

子どもの様子　～今月は描画や制作の様子です～

りす組

　子どもたちの描いたものを使って壁面を飾ろうと、準備をしていました。
りす組の子どもたちは大好きな絵具を見ると・・・
みんな早くやりたくて待ちきれない様子です。
「キイロガ　イイ」「ボク　ミドリ！」と好きな色を自分で選んでいました。筆や丸型スタンプも好きなものを選んで使えるようにしました。途中で色を変えたり、筆を変えたりしながら画用紙に色がついていく楽しさに夢中になっていく子どもたち。
筆を違うお皿に入れて色が混じらないように、せっかく描いたものが上書きされて消えないように、保育者は大忙し！「黄色は黄色のお皿に置いてね」「次の紙に描いてみる？」と声をかけます。ずっと同じ色で描いている子どもに「白も使ってみたらきれいよ～」と声をかけたら「イイノ！」とお返事が。黙々と同じ色で書き続けていました。きっと頭の中では素敵なイメージが広がっていたのでしょうね。そのうち、筆を使っていた子どもが手のひらに塗り始め・・・それを見たお隣の子どもも手のひらから手の甲、手首まで緑に！楽しい感触遊びになっていました。満足そうな子どもたちの様子にまた絵具遊びを取り入れていきたいと思っています。

りす組は１月から３名の新しいお友だちを迎えました。早速新しいお友だちのお名前を呼んだり、さりげなくおもちゃを近くに置いてくれたり、とってもウエルカムな在園児のみんなでした。新しいお友だちもみんなが遊んでいる様子を見て安心して笑ったり、同じことをして遊んでみたりしています。子ども同士の関わりが増々楽しみです。

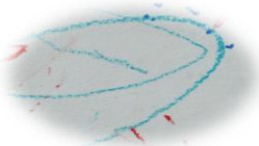
うさぎ組

うさぎ組になり、一人ひとりのクレヨンや粘土を取り出しやすいところにセットしています。
自分でやりたい時に取り出して机に座り、夢中になって遊んでいます。
　粘土では、細かくちぎって丸くして「雪だるま～」「きょうりゅう～」“大きな丸を重ねてお弁当”　最近は手を前後に動かして細長く「へび」も作っています。「見てみて～」と友だちと見せ合いっこしながら、楽しそうに遊んでいます。最初のころは粘土を手でちぎるのも難しく、細かくすることも大変だった子どもたちでしたが、手先の力や握力が付いてきて、器用に動かすことができるようになりました。自分の手の動かし方で形が変化することも分かって形を作る姿など大きな成長を感じます。
　描画あそびは、クレヨン、マーカー、絵具と様々な道具を使った遊びをしています。机いっぱいの大きな紙に手を大きく動かしてみんなで線を書いていたのが、最近は一人ひとりで紙に描いています。顔の形（輪郭、目、鼻、口）がわかり、手や足も描くようにもなってきました。自分を描いたり、お友だちを描いたり、ご両親を描いたり、思い思いに表現しています。筆圧も強くなってきたように感じます。
子どもの表現する姿からも多くの成長を感じ、また制作活動の楽しさを感じる毎日です。
　　集中して遊んでいる姿は芸術家のようです！！

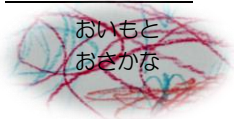
1～3歳児の絵の発達と大切にしたいこと

１歳半ごろ。腕を大きく動かして往復運動のなぐりがきが楽しそうです。

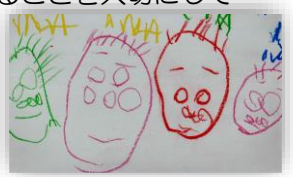
１歳後半になると目と手を協応させてコントロールする力がさらについてきます。回転運動を主体としたぐるぐる丸のなぐりがきに嬉しさがはじけているようです。



２～３歳のころ。なぐりがきに名前を付け始めます。なぜその名前がついたのか、描いた絵を見ても理解できないのが普通です。描きながらどんどん名前が変わることも・・・
絵を描きながら楽しくおしゃべりをして、イメージの世界を楽しめることを大切にしています。ただ描くことが楽しい！ということもあります。



３～４歳のころ。線や丸（閉じた丸）が書けるようになり、それを組み合わせて生き生きと表現するようになります。絵を描きながら経験したことや身の回りの出来事をたくさんおしゃべりしています。



☆「〇〇かいて」と大人に言うばかりで自分で書こうとしないときは、書いてあげながら「この車に誰が乗ってるのかな」などと楽しく会話を広げています。繰り返すうちに乗っている人物を丸で描きこんだりし始めます。
☆誰かに話さずにいられない生き生きとした日常を何より大切にしたいと思っています。